



### 第48回税研 全国集会

## 応能負担で公平確保を 大企業は内部留保使い責任果たせ

全労連・国公労連・全国税が共同して取り組んできた「ビクトリーマップ」・大企業の内部留保―大企業の社会的責任追及と不公平税制是正を求める―活動が社会的に注目される中、1月10～11日に開催した第48回税研全国集会(神戸市須磨区内)に243名が参加しました。

八代税研推進委員長、中央推進委員会の木村山口全国税本部委員長が、歓迎の挨拶を述べ、来賓の吉井衆院議員、秋山国公労連書記次長から連帯の挨拶がありました。基調報告に立った税研

申は、景気減速の中、総務省は「税制改正」を中心に、①「税制財政改革」の本質と実態を明らかにし、②「不公平税制」の実態を分析し、民主的改

③「国民本位の税務行政のあり方も検討する重要性を強調しました。このあと、立命館大学法科大学院の三木義一教授の「日本の最近の税金問題を考える」と題した講演、長谷川前本書記長の「e-Tax急拡大の問題点」と題した特別報告が行われました。

二日目の分科会討議も受けて開かれた全体集会では、「税制改革の基本は不労所得には重課、勤労所得には軽課をし、最低生活費には課税をし、理念のもと、応能負担原則を徹底し税負担の公平を確保する必要があります」と報告されました。

そのための、①所得税を税体系の基幹税とし、累進的な総合課税によって所得の再分配機能の確保を最優先すべき、②大企業優遇税制を是正することにも、大企業の社会的責任を果たせることが緊要となっている、③消費

費税は直接税の補完税とし、ぜいたく品等課税範囲を整理し個別に課税すべきであること、④税制調査会等の全面的情報公開、委員選定や運営方法等そのあり方を民主化する、⑤のまとめを確認し散会しました。

対応した井上審議員は「施行は法律で決まっております、本府省以外は1年後から実施という部分を更に延ばすことは考えていない」と回答しました。国公労連は、「各省で対応にはらつきがみられる制度自体に問題があり」「まともなリハーサル試行を行っていない省庁もあり、強引にスタートしても、結局使えないものになりかねない」と主張しました。しかし、人事院は、「どういった基準で活用するかを決める段階にきています」との回答に終始しました。

「最近の税金問題を考える」と題した講演で、三木教授は、なぜ税制改正は3月以降? なぜ事業承継ばかり? 企業課税を地方はできない? 等々について縦横無尽に語り、あわせて、「国際連帯税の布石―通貨取引税を実現させませんか」と問いかけ、新たな視点での研究活動を深めようと呼びかけました。その要旨を紹介します。

### 「納税者党宣言！」

移動可能な資本を優遇する「税の安売り競争」が世界の租税政策を歪めている。移動可能な資本はより安い国に移動し、移動された国は更に安い誘導策と呼び戻すしかない。そうすると、一国の税収は何によってもたらされるのか! 言うまでもなく、移動できない労働者の給与や国内消費等からなる。

何京円もの資本が光速で世界中を駆け巡っており、投機家が短期資本を大量に流入させ、その国の株式や通貨をバブル化させ、機を見て一気に回収をする。

「たっぷり油のさされた国際金融の歯車に少々の砂粒をまく」ことが必要である。これがトービン税、別名・通貨取引税といわれている。通貨取引に低率の課税を行う「トービン税構想」によれば、短期に複数回の通貨売買を繰り返す投機取引は不利になり、長期資本への悪影響は避けられる。しかも、その課税対象は莫大で多額の税収が見込まれる。



三木立命館大学教授

国連が中心になって徴収し、低開発国を中心に配分すれば、税制を通じて経済格差が是正され、税の国際的再分配効果も期待できる。しかし、アメリカが強硬に反対し、各国の課税権を侵害する側面もあるため提案は無視され続けてきた。

金融危機等を世界の納税者は体験し、この税制を夢物語に終わらせてはならないと気づき始めた。今や国内的公平さだけでなく、国際的公平さにも目を向けなければならない。

EU諸国を中心にこの税制が検討され始め、03年にベルギーの国会は通貨取引税法案を成立させた。世界は徐々に変わろうとし始めている。昨日の例外は、今日の前例となり、明日の原則となる。導入する社会的合意が形成されるか否かにかかっている。

冒頭、国公労連は、「評価結果の全面開示や苦情処理にかなわぬ労働組合の関与など根本部分で大きな溝があり、それが埋まらないうちに実施に向けた作業が進められていることは重大な問題」と指摘した上で、評価結果の活用の実施時期について「制度の完成度(習熟度、信頼度、妥

答に終始しました。」「国民の苦悩あるべからず」「農民連あはれ」と意気高らかに述べ、「生活危機突破にたかろう労働組合あり」の構えで09春闘、政治転換にタッチをかける。

選挙を控えた政府与党に配慮する内容で、その存在意義が問われる」と指摘しました。



一般職国家公務員の給与法等の改正法案は、昨年12月19日、全会一致で可決・成立しました。総務委員会では、質問に立ったほとんどの議員が非常勤職員の問題をとりあげました。那古屋議員(民主)は、「定員削減の影響で非常勤職員の増大が顕著だ。同一労働同一賃金、非正規労働者の処遇改善のお手本を官から示す必要がある」と政府の責任を追及しました。

これに対して、鳩山邦夫総務大臣は、「あくまで非常勤職員は短時間勤務にすべきだ。常勤と同じ仕事をしているのに非常勤の扱いとなっているのは問題で、常勤にすべき」と答弁しました。鳩山大臣は、「地方自治体は約50万人の非常勤職員がいる。正常な姿ではない」と認めましたが、「安心して働けるよう一生懸命やっています」との抽象的な答弁にとどまりました。

阪神・淡路大震災以来おこなってきた農民連動全国連合会(農民連)の救援活動が「年越し派遣村」でも光った。米や野菜など炊き出し用の食糧が積まれ、モチ米の袋に「オレの作った米を食って元氣出せ」の寄せ書きもある。農民は同情して食糧を届けているのではない。コメを作るのに時給1799円で、最低賃金を下回る収入しかない。「新自由主義による農作物の買いたたき・海外依存は、労働者の使い捨てとウリ二つだから」と代表はのべた。国民の苦悩あるべからず、農民連あはれと意気高らかに述べ、「生活危機突破にたかろう労働組合あり」の構えで09春闘、政治転換にタッチをかける。



発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

「税務の職場」  
何でも110番  
zenkokuzei@aol.com  
全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号まで)。  
◇全国税ホームページ◇  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

## 総務委員会質疑 非常勤職員問題などに集中 「非常勤職員の増加は正常な姿ではない」と鳩山大臣も答弁

「非常勤職員の増加は正常な姿ではない」と鳩山大臣も答弁。総務委員会では、質問に立ったほとんどの議員が非常勤職員の問題をとりあげました。那古屋議員(民主)は、「定員削減の影響で非常勤職員の増大が顕著だ。同一労働同一賃金、非正規労働者の処遇改善のお手本を官から示す必要がある」と政府の責任を追及しました。

### 詰碁

【出題】九段 石榑都郎  
黒先  
▲1、3の好手  
段で白を仕留めませう。  
(6分で、三段以上)

# 政治動かす 連帯・絆の力

大晦日から年をまたぎ、東京・日比谷公園に開設された「年越し派遣村」——「派遣切り」などで職を奪われ、住まいを失った人たちの緊急避難所には、500人の「入村者」、のべ1700人のボランティアが集い、「政治の責任で対策を」と迫りました。

## 「年越し派遣村」

「年越し派遣村」の運動が政治をどう動かしたか

12月29日 労組や市民団体でつくる実行委員会が「派遣村」の開設を発表。

31日 開村式。入村者129人、ボランティア360人。出張床屋も。支援物資が続々届く。

厚労省等に支援要請。野党国会議員らが訪問。

1月1日 コマ回し、風あげなどで新年を祝う。

2日 夜、厚労省が講堂を宿泊所として開放。

4日 5日以降、東京都内の4施設の開放で厚労省と合意。「派遣村」で開かれた集会で、野党が共同して国会決議をあげることで合意。

5日 日比谷公園から4カ所に移動。生活保護申請、職業紹介などが本格化。国会に要請行動、野党各党が呼び掛けた院内集会に「村民」らが参加。

6日 国会決議案を、野党共同で衆参両院議長あてに提出。

7日 参院本会議で「雇用と住居など国民生活の安定を確保する緊急決議」を、全会一致で採択。



山口委員長は、「今回はボランティアに徹しようとリュックにカンパの食料を詰め込んで参加した。受付テントには全労連や連合の旗はあるものの、ボランティアは実行委員会配布のボランティアを付けているだけだ。セクト意識が感じられない雰囲気、格差拡大・雇用破壊に反撃し、変貌を遂げようとする労働運動の状況が垣間見えた。」とレポートしている。

用務員の鎌田さんを2級のまま退職に追い込んだ上に、交換手さんも3級のまま退職に追い込むことになれば、行(二)職員に対する「裏切り人事」であり、その責任を徹底して追及していくことを通告しました。



冒頭、事前に提出した要求に対し、以下の回答がありました。

■定員、再任用問題 ■ 行(二)職員を受け皿にした定員削減については、①「公務遂行上真に必要な場合を除き、技能・労働職員の採用は行わない」「原則、行(二)職は採用せず民間委託する」とした1983年「行革大綱」を持ち出し、②運転手さんの将来不安を増大させる公用車削減について、「定年退職者とその後の再任用制度を十分考慮したところで、職員

「超勤削減」の名のもとに、有無を言わず、行(二)職員の超勤をハッサリ切つてきたことに抗議し、「命令は的確に行い、手当支給時間の拡大」を強く求めました。

「実情に基づき適切に支給している」と回答した後、補佐は「署から遠い総務課職員に早く来て

もらつてなく、近くに住んでいる行(二)職員の方に開扉をお願いしているのでは」と答えました。

以前、用務員さんは執務開始前に事務室内の清掃を終わらせ、職員は気持ちよく仕事を始められる、包括承認基準を満たしている職員全員を人事院との個別協議に何名を上げ、何名昇格できたのかを聞いても、答えようとしなかった。「強く働きかけていると言つたのなら、勤続36年になる交換手さん(関信局所沢署・安藤さよ子さん、大阪局港署・前田留美子さん)の4級昇格はどつとく実現しているはずだ」と抗議しました。

補佐は、「経験年数、等級号俸、部下数のすべてが基準以上の場合しか昇格できない」が、人事院には強く働きかけていることを理解を」とのミニチュア回答に終始しました。

交渉団は、「人事院との個別協議に何名を上げ、何名昇格できたのかを聞いても、答えようとしなかった。「強く働きかけていると言つたのなら、勤続36年になる交換手さん(関信局所沢署・安藤さよ子さん、大阪局港署・前田留美子さん)の4級昇格はどつとく実現しているはずだ」と抗議しました。

「驚愕の人事」を新語流行語大賞で風刺(関信地連)

「グ〜!」1 便宜供与を受けて左遷された者が先の定期異動でなんと指定官職になった。12月1日からの「国家公務員倫理週間」に寄せて、長官は「高いモラルが求められる」と述べている。でも、2年で早くも指定で復権では、「高いモラル」などナッシング。

「グ〜!」2 「貴重な休日を割いて運動を牽引された専従者に感謝の花束贈呈」が報じられた。でも、専従明けて職場復帰すれば第一選抜の昇任が待っている。これでも少し位休日返上してもグ〜、グ〜、グ〜です。

あけましておめでとう「近畿・北大阪支部」おれたちは、モルモットかよ。二元化、試行警職員の苦勞も報われず、生かされずめづらしい。局の灯りが、もう消えた(午後9時「ろかな」)で、たためも一度やったら係数に消費税10%か非公のみならず民主も。

うるさいワ 「管理強化」に、尻たたき細々とした管理、そのうえノルマの尻たたき。出来るものなら、やつて見せてくれ。

5段階評価の意味は「東京・東京支部」最高! A エーよん B ポチポチでんな C チッチッチ D タメ

標準はBです。今後はマシこれで評価されます。

「後期高齢者」 国税版は「後期在職者」で50歳位までに6級ボスについていない者、以後「高齢者に冷たい関信局」に切り捨てられる。

「名ばかり管理職」 カス署長の下にいる統括官。統括の頭越しに署長が細かく口を出し立場がない。まさに「名ばかり管理職」。耐えられず退職を口にする人も。



職員を育てた巡回指導「東京地連」 「巡回相談が若手育成を阻害している」との指摘があります。かつて、確明期は職員にとつても法令等を理解する貴重な時期でした。また、多様な納税者と目線をあわせ、対話の中で「相手のどこが不明なのか」を探求し、対応する力を獲得する機会でもありました。

申告書作成に最初から最後まで責任を持つことで必要な知識と能力を習得し成長してきました。

こうした力を1問1答方式でつちかうことは困難です。「プロとして誇りをもって専門知識をみがいてほしい(局長)のならば巡回相談こそ見直す必要があります。

## 行(二)問題で 庁の責任追及

12月12日、行(二)職員の処遇と労働条件の改善を求めて、国税庁と交渉を行いました(壇楽課長補佐が対応)。

運動車の減少に応じて削減することとして見積もったもの「現に働いている職員云々」ということではない」との従来回答を繰り返しました。

再任用制度の運用について、「短時間勤務について定員管理枠外にせよ」との要求に、「より適正なるよう働きかけていきたい」と回答しましたが、「具体的な内容については回答不能でした。また、「フルタイムの道を閉ざす」の要求に対し、「真に必要な場合に限り、現在、フルタイムの行(二)職員はいない」と回答。「短時間勤務でも宿舍の貸与は行

えとの要求には、宿舍法をタテに門前払いする回答にとまりました。

■休憩場所問題 ■ 「用務員室や交換室を廃止する」の要求に、「庁舎の建て替え時には執務に必要なスペースを確保する」と回答。スペースとは部屋のことか、それとも机だけを配備することが、と追及しましたが、後日の回答になりました。

## 個別協議で昇格抜本改善を 労苦に報いる気配りも徹底せよ

「超勤削減」の名のもとに、有無を言わず、行(二)職員の超勤をハッサリ切つてきたことに抗議し、「命令は的確に行い、手当支給時間の拡大」を強く求めました。

「実情に基づき適切に支給している」と回答した後、補佐は「署から遠い総務課職員に早く来てもらつてなく、近くに住んでいる行(二)職員の方に開扉をお願いしているのでは」と答えました。

以前、用務員さんは執務開始前に事務室内の清掃を終わらせ、職員は気持ちよく仕事を始められる、包括承認基準を満たしている職員全員を人事院との個別協議に何名を上げ、何名昇格できたのかを聞いても、答えようとしなかった。「強く働きかけていると言つたのなら、勤続36年になる交換手さん(関信局所沢署・安藤さよ子さん、大阪局港署・前田留美子さん)の4級昇格はどつとく実現しているはずだ」と抗議しました。

交渉団は、「人事院との個別協議に何名を上げ、何名昇格できたのかを聞いても、答えようとしなかった。「強く働きかけていると言つたのなら、勤続36年になる交換手さん(関信局所沢署・安藤さよ子さん、大阪局港署・前田留美子さん)の4級昇格はどつとく実現しているはずだ」と抗議しました。

関信地連・埼玉県支部上尾分会 平松 廣能さん 逝去

埼玉県支部上尾分会の平松廣能さん(国専5期)は、癌との闘病中でした。が病状が悪化し、12月4日急逝されました。享年56歳。分会、埼玉支部、関信地連で役員を歴任しました。ユーモアのある手書きの分会機関紙を発行し、職場の民主化のため奮闘されました。

謹んで、ご冥福をお祈りします。

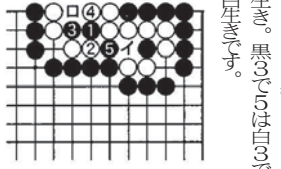
「グ〜!」1 便宜供与を受けて左遷された者が先の定期異動でなんと指定官職になった。12月1日からの「国家公務員倫理週間」に寄せて、長官は「高いモラルが求められる」と述べている。でも、2年で早くも指定で復権では、「高いモラル」などナッシング。

「グ〜!」2 「貴重な休日を割いて運動を牽引された専従者に感謝の花束贈呈」が報じられた。でも、専従明けて職場復帰すれば第一選抜の昇任が待っている。これでも少し位休日返上してもグ〜、グ〜、グ〜です。

職員を育てた巡回指導「東京地連」 「巡回相談が若手育成を阻害している」との指摘があります。かつて、確明期は職員にとつても法令等を理解する貴重な時期でした。また、多様な納税者と目線をあわせ、対話の中で「相手のどこが不明なのか」を探求し、対応する力を獲得する機会でもありました。

申告書作成に最初から最後まで責任を持つことで必要な知識と能力を習得し成長してきました。

こうした力を1問1答方式でつちかうことは困難です。「プロとして誇りをもって専門知識をみがいてほしい(局長)のならば巡回相談こそ見直す必要があります。



詰碁 解答 黒1のけから3と打つのが好手段。白4に黒5で白死す。黒1で5は白1黒2白1で白生き。黒3で5は白3で白生きです。